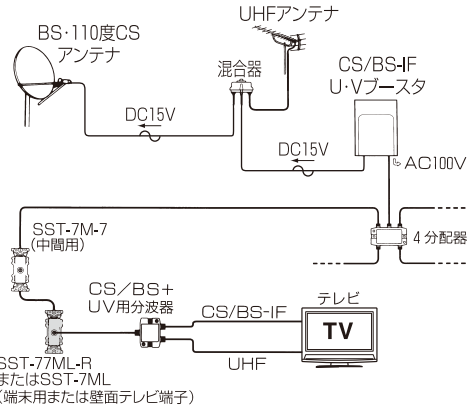
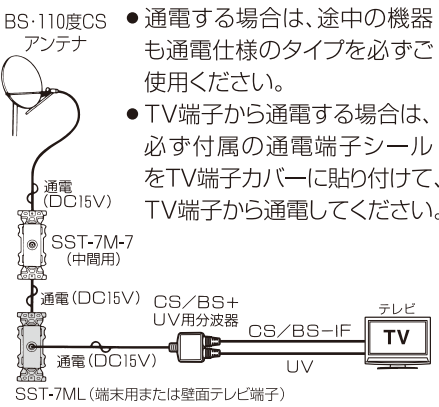


**ユニット使用例**

●ユニットに通電しないでご使用の場合

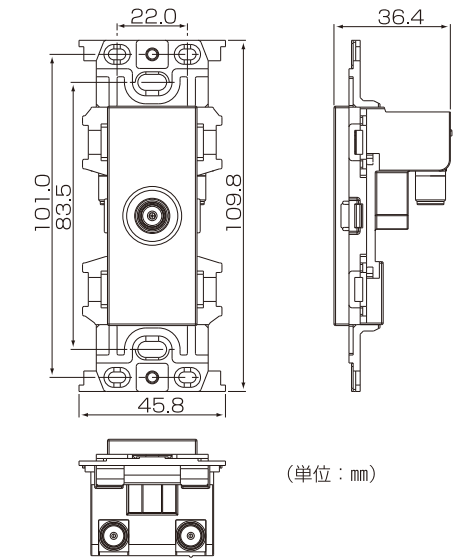


●ユニットに通電してご使用の場合



**外形寸法図**

図はSST-7ML-7で代表していますが、他の機種も寸法は同じです。



**カスタマーセンター ☎ 0120-941-542**

(受付時間 9:30～12:00/13:00～17:00 土曜・日曜・祝日および夏季・年末年始休暇は除く)  
 携帯電話・PHS・一部のIP電話で上記番号がご利用にならない場合 **03-4530-8079**

**ホームページアドレス** <http://www.dxantenna.co.jp/>

**DXアンテナ株式会社** 本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 (2011年2月)

**取扱説明書**

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

**DIGITAL**

**共同受信用CS/BS-IF・UHF・VHF/FM・HF [10～2610MHz] 入出力端子可動形 直列ユニット**

中間用・1端子形  
 (入力・TV端子間通電)

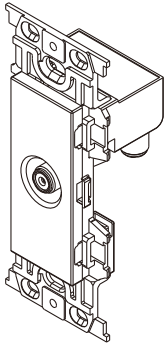
**SST-7ML-7**

端末用・1端子形  
 (入力・TV端子間通電)

**SST-7ML-R**

壁面テレビ端子・1端子形  
 (入力・TV端子間通電)

**SST-7ML**



**製品の特長**

- 新機構の可動形入出力端子の採用により取付作業が容易です。
- ユニット両端の取付サポートが脱着可能で、市販取付枠と組み合わせて使用できます。また、壁面からの高さ調整可能ですので、2種類の化粧プレートに対応します。
- CATV上り帯域からCS-IF帯域(10～2610MHz)まで広帯域にわたりフラットな周波数特性です。
- ダイカスト製の高シールドタイプのケースを採用していますので妨害波の影響を受けにくくなっています。

(電磁妨害(EMI)排除能力75dB以上)

**安全上のご注意**

|   |                                                                              |
|---|------------------------------------------------------------------------------|
| ⚠ | △記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。      |
| 🚫 | ⊘記号の場合は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。               |
| 🔌 | ●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。 |

**⚠ 警告**

この内容が無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- テレビ受信関連工事には技術と経験が必要です。お買い上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。

- この製品は屋内専用です。この製品を屋外で使用したり、風呂場や洗い場など水がかかる場所や、水などの入った容器の近くなどで使用しないでください。故障の原因となります。また、同軸ケーブルに電流が流れている場合は、火災・感電の原因となります。

- この製品を調理台の付近など高温になる場所で使用しないでください。燃えたり、変形したりして、火災や破損の原因となります。

- 万一内部に水などが入った場合は、まずこの製品に接続している電気製品などの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店もしくは工事店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- この製品のケースを開けたり、分解したりしないでください。また、お客様による修理や改造はしないでください。感電やけがの原因となりますし、性能維持ができなくなり、故障の原因となります。

- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにこの製品に接続している電気製品の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙がでなくなるのを確認して販売店もしくは工事店に修理をご依頼ください。

- 雷が鳴り出したら、この製品に触れないでください。感電の原因となります。

**⚠ 注意**

この内容が無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- お手入れの際には、ベンジン、アルコール、シンナーなどは使わないでください。塗装がはげたり、変質することがあります。お手入れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。化学雑巾を使用する際には、その注意書に従ってください。

《販売店・工事店様の安全上のご注意 ― お客様もお読みください》

**⚠ 警告**

この内容が無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- この製品は屋内専用です。屋外で使用したり、風呂場や洗い場など水がかかる場所や、水などの入った容器の近くなどに設置しないでください。故障の原因となります。また、同軸ケーブルに電流が流れている場合は、火災・感電の原因となります。

- この製品を調理台の付近など高温になる場所に設置しないでください。燃えたり、変形したりして、火災や破損の原因となります。

- 不安定な場所、高所など足場の悪い場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

- この製品に接続する同軸ケーブルには電流が流れることがありますので、途中には通電形機器以外は挿入しないでください。回路やケーブルがショートして、火災や感電の原因となります。また、通電形機器を挿入する場合は、通電端子をよく確かめてお使いください。

- この製品に接続する同軸ケーブルには、電流が流れることがありますので、同軸ケーブルの接続などで、心線と編組線が接触しないようにしてください。火災や感電の原因となります。

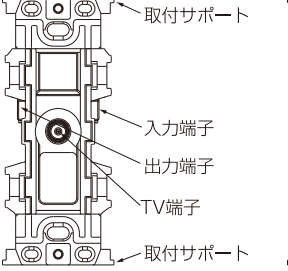
- 取り付けネジや、ボルトや接栓は、締め付け力(トルク)に指定がある場合はその力(トルク)で締め付け、堅固に取り付け固定してください。落下や破損して、感電やけがや故障の原因となります。

お取扱いの前に

- 取付作業は、この取扱説明書をよくお読みのうえで行なってください。
- この製品は屋内取付専用です。
- この製品は入力端子－TV端子間にブースタやCS/BSアンテナなどを動作させるための電流を流すことができますが、必ず決められた電流容量内でご使用ください。また、通電して使用する設定で取り付ける場合は、必ず通電端子シールをTV端子カバーに貼り付けてください。
- 電流の通電は、すべての同軸ケーブルが完全に接続されていることを確認した後、行なってください。
- 使用時、異常が生じた場合は、ただちに通電を止め、原因を確かめてください。

各部の名称

中間用



取付サポート

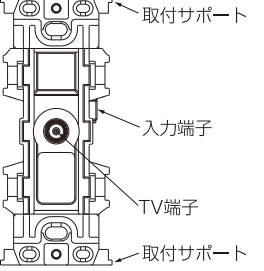
入力端子

出力端子

TV端子

取付サポート

端末用/壁面テレビ端子

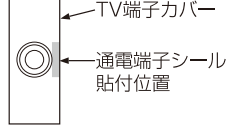


取付サポート

入力端子

TV端子

取付サポート



TV端子カバー

通電端子シール貼付位置

- TV端子～入力端子間が通電仕様の場合は、必ず付属の通電端子シールを貼り付けてください。
- この製品の入力端子は黄色です。

付属品



皿ネジ2本

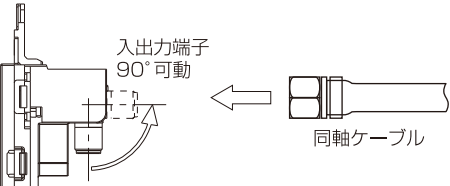
F-5接栓、同軸止めリング付  
(5C相当ケーブル用)  
各入出力端子数

通電端子シール1枚

入居者カード1枚

同軸ケーブル接続方法

入出力端子は、90°可動ですので、下図のように端子を引き起し、同軸ケーブルを容易に接続できます。ユニット取付け時、端子の位置は、90°の範囲内でどこでもご使用になれます。取付場所のスペースに合わせた角度でご使用ください。

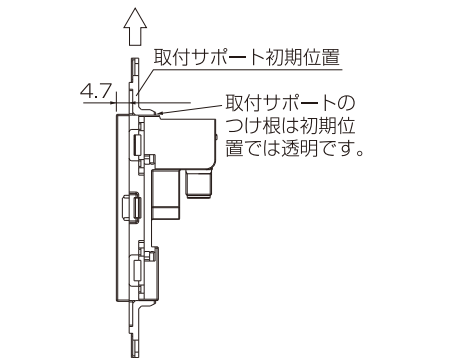


- 接栓は、接続ナットを2N・mで締め付けてください。  
(2N・mを超えるトルクでは締め付けられないでください。)

壁面からの高さ調整方法

工場出荷時は標準化粧プレートの高さに合わせていますので、ワイド形化粧プレート使用時に壁面からの高さを調整する場合は、次の手順で取付サポートカバーの向きを変更してください。

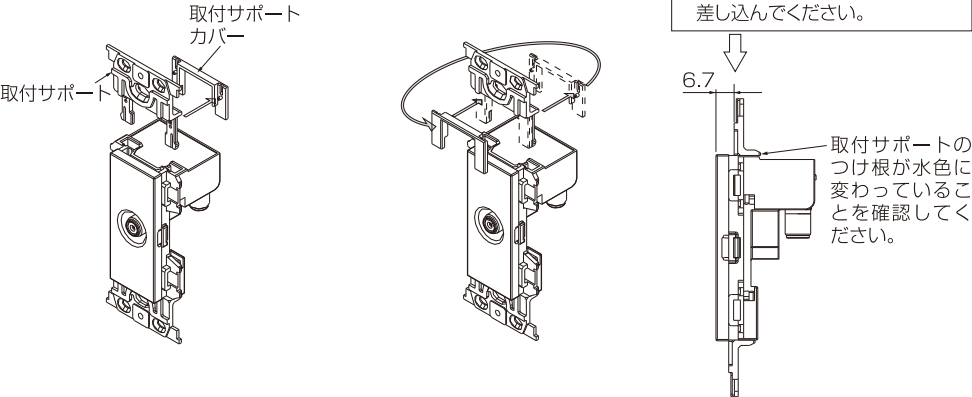
- ①本体から取付サポートを引抜く。



取付サポート初期位置

取付サポートのつけ根は初期位置では透明です。

- ②取付サポート裏面に装着されている取付サポートカバーをはずす。
- ③取付サポートカバーを反転させ、取付サポート前面に装着する。
- ④取付サポートを本体に入れなおす。



取付サポートカバー

取付サポート

※取付サポートは、きっちりと奥まで差し込んでください。

6.7

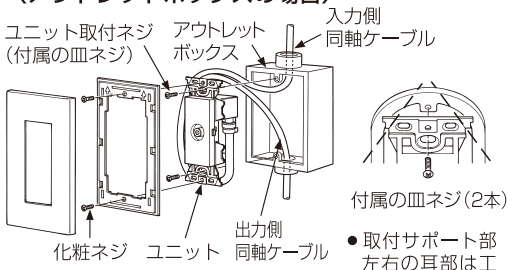
取付サポートのつけ根が水色になっていることを確認してください。

- ⑤下側の取付サポートも同様に變更してください。

ユニットの取付方法

- アウトレットボックスまたは板壁に直接取り付ける方法**  
イラストはSST-7ML-7で代表していますが、他の機種も同様に取り付けてください。
- 市販取付枠を用いて取り付ける方法**  
本体から取付サポートを引き抜いてください。イラストはSST-7MLで代表していますが、他の機種も同様に取り付けてください。

〈アウトレットボックスの場合〉



ユニット取付ネジ (付属の皿ネジ)

アウトレットボックス

入力側同軸ケーブル

化粧ネジ

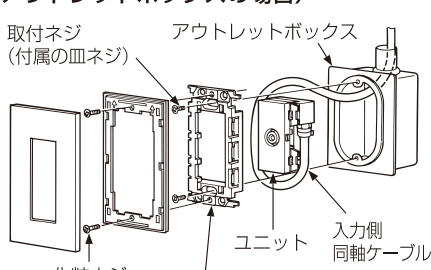
ユニット

出力側同軸ケーブル

付属の皿ネジ(2本)

- 取付サポート部左右の耳部は工事の都合で邪魔になる場合、点線位置で切り取ってください。

〈板壁の場合〉



取付ネジ (付属の皿ネジ)

アウトレットボックス

ユニット

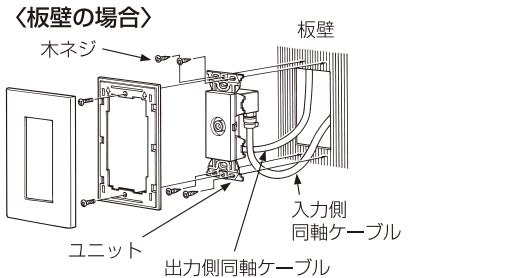
入力側同軸ケーブル

化粧ネジ

取付枠 (市販品)

ユニットを取付枠にセットし、取付枠上下のだ円穴を利用して付属の皿ネジで2か所しっかりと取り付けてください。

〈板壁の場合〉



木ネジ

板壁

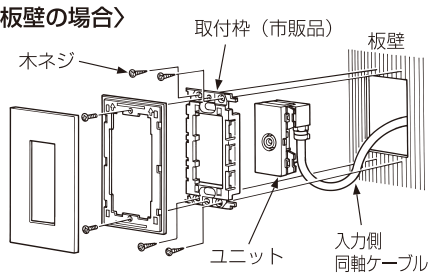
ユニット

入力側同軸ケーブル

出力側同軸ケーブル

ユニット両端の取付サポートだ円穴を利用して木ネジまたは釘で左右上下4か所しっかりと取り付けてください。

〈板壁の場合〉



木ネジ

板壁

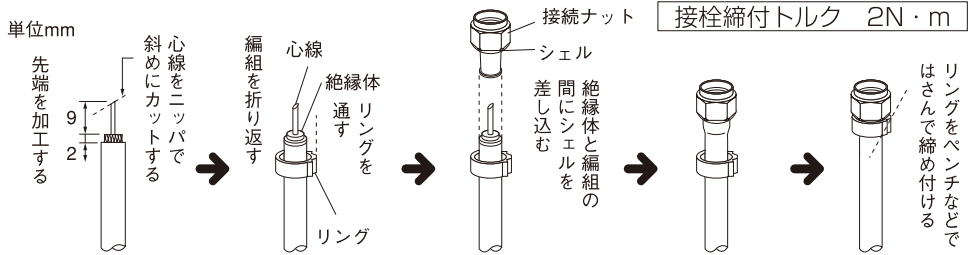
ユニット

入力側同軸ケーブル

取付枠 (市販品)

ユニットを取付枠にセットし、取付枠の耳部だ円穴を利用して木ネジまたは釘で左右上下4か所しっかりと取り付けてください。

F-5接栓 (付属品) への同軸ケーブル加工方法 (5C相当ケーブル用)



単位mm

先端を加工する

9

2

心線をニッパで斜めにカットする

編組を折り返す

心線

絶縁体

リングを通す

接続ナット

シェル

絶縁体と編組の間にシェルを差し込む

接栓締めトルク 2N・m

リングをペンチなどではさんで締め付ける

- 同軸ケーブルの先端加工をする場合、心線、編組に傷をつけますと断線の原因になりますからご注意ください。また心線と編組は絶対に接触しないようにご注意ください。
- 接栓を取り付けた同軸ケーブルの心線が曲がっていないかよく確かめ、また心線を曲げないように接続してください。
- 設置後、同軸ケーブルが抜けたりしないようリングをしっかり締め付けてください。
- 入出力端子へのF型接栓の接続は、接続ナットを2N・mで締め付けてください。(2N・mを超えるトルクでは締め付けられないでください。受信不良の原因となることがあります。)
- この製品には、F-5接栓を付属していますが、CS/BS-IF帯を伝送する場合、使用する同軸ケーブルに適合した別売のC15形接栓をご使用ください。  
(5C相当ケーブルの場合F-5SN、4C相当ケーブルの場合F-4SN)

規格特性

| 品 番       | インピーダンス (Ω) |    |    | 使用周波数 (MHz) | VSWR (以下) | 挿入損失 (dB以下) | 結合損失 (dB以内) | 逆結合損失 (dB以上) |
|-----------|-------------|----|----|-------------|-----------|-------------|-------------|--------------|
|           | 入力          | 出力 | TV |             |           |             |             |              |
| SST-7ML-7 | 75          | 75 | 75 | 10～76       | 2.5       | 2.5         | 10.5±1.5    | 15           |
|           |             |    |    | 76～250      | 1.8       | 1.5         | 11.0±1.0    | 25           |
|           |             |    |    | 250～770     | 1.8       | 2.0         | 11.0±1.0    | 20           |
|           |             |    |    | 770～1489    | 2.0       | 2.5         | 11.5±2.0    | 18           |
|           |             |    |    | 1489～2150   | 2.0       | 4.0         | 13.0±2.0    | 15           |
|           |             |    |    | 2150～2610   | 2.0       | 5.0         | 14.0±2.0    | 15           |
| SST-7ML-R | 75          | －  | 75 | 10～76       | 1.5       | －           | 9.5±1.5     | －            |
|           |             |    |    | 76～250      | 1.5       | －           | 8.5±1.0     | －            |
|           |             |    |    | 250～770     | 1.5       | －           | 9.0±1.0     | －            |
|           |             |    |    | 770～1489    | 1.8       | －           | 9.5±1.5     | －            |
|           |             |    |    | 1489～2150   | 2.0       | －           | 10.5±2.0    | －            |
|           |             |    |    | 2150～2610   | 2.0       | －           | 11.0±2.0    | －            |
| SST-7ML   | 75          | －  | 75 | 10～76       | 1.6       | 0.8         | －           | －            |
|           |             |    |    | 76～250      | 1.6       | 0.4         | －           | －            |
|           |             |    |    | 250～770     | 1.6       | 0.6         | －           | －            |
|           |             |    |    | 770～1489    | 1.8       | 0.8         | －           | －            |
|           |             |    |    | 1489～2150   | 2.0       | 1.5         | －           | －            |
|           |             |    |    | 2150～2610   | 2.0       | 2.0         | －           | －            |

- 通電容量はDC15V・0.8A以下またはAC30V・1A以下です。
- ※規格は改良により変更させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。



JEITA

JEITA デジタルハイビジョン受信マークは、(社)電子情報技術産業協会に登録された一定以上の性能を有する受信システム機器に付けられるシンボルマークで、衛星放送及び地上デジタルテレビジョン放送受信用アンテナや機器の性能を証明するものです。